

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	川西市立けやき坂小学校 職・氏名 主幹教諭 光岡 眞弓	研究チーム名 ( 学校カウンセリング研究会 )
-----------------	--------------------------------	----------------------------

研究テーマ分類番号 ( 17 )

(1) 研究テーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒理解や教育実践に生かすことのできるカウンセリングの知見や技法を模索し、教師としての実践力を高める。</li> <li>・事例検討会を通して、教師同士互いに支援し合う場（教師ピアサポートグループ）を開発する。</li> </ul>	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
6月7日(火)	<p>内 容：自己紹介、年間計画作成 購入予定のテキストの決定。 ※新しい仲間も入り、新たな気持ちでスタートを切る。</p>
7月19日(火)	<p>内 容：テキストの読み合わせ、記載されている活動の説明と体験 8月の研修「ピアサポートトレーニング」について打ち合わせ</p>
8月4日(木)	<p>内 容：「学級経営にピアサポートを生かす～対人関係を豊かにし、仲間同士支えあえる子どもを育てる～」 講 師：大阪市教育センター 指導主事 成 果：多くの体験ができ、2学期に活かすことができそうなことを多く学ぶことができた。2学期に校内研修で活かしたい希望もあり、教師の意欲が高まった。</p>
9月8日(木)	<p>内 容：8月研修のふりかえり。 長野研修の報告。「クッキーデート」体験 フォーカシング研修の報告</p>
10月21日(金)	<p>内 容：「しないできないゲーム」体験（自己啓発：自律的・他律的） 成 果 等：できない言い訳をしながら、解決への方策を自分自身の中で模索し始めたという感想が多かった。</p>
11月22日(火)	<p>内 容：事例検討会（解決志向カウンセリングを生かしたインシデントプロセス法） 「解決志向カウンセリング」「リソース」について 検討会の目的、方法について説明 体験（ちょっかいをかける男子を追いかける女子の行動についての事例） 成 果 等：① 事例検討会の中で、「たくさんコンプリメントされ、うれしかった。」「これからの解決策のアイデアも参考にして頑張りたい。」「元気が出た。」と事例提供者が感想を述べた。 ② 「ラーフセラピー」の体験では、恥ずかしくて、初めは大きな声が出せなかったけど、出している人の声を聞くと楽しくなった。体の血のめぐりがよくなり、心も体も温かくなれたという感想を持った。</p>